



かしまホットニュース

鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.19

市のホームページでもご覧いただけます

1. 偉人を顕彰！鹿島の明治維新史と田島勝爾の本を発刊！

明治維新150年記念事業として、鹿島に関する2冊の本が作成されました。一つは、「<再発見>鹿島の明治維新史」と題した本で、明治維新期の鹿島の関わりやこの時期に活躍した人物でこれまで注目されていなかった「篤誠院(とくせいいん)(柏岡(かしわおか)夫人)」や「八沢棟之進(ていのしん)」について詳細に書かれています。もう一つは、「田島勝爾(かつじ)の生涯と田島精神」と題して、鹿島のみかん栽培の先駆者で「みかんの先生」として多くの人々に慕われた田島勝爾を顕彰した本です。これら2冊の本は、市民図書館や6地区の公民館(4月中旬頃から)で読むことができます。みなさんもぜひご一読ください。



明治維新百五十年記念として作成された本

2. 地域の拠点に！JR肥前浜駅リニューアルオープン！

3月24日(土)、JR肥前浜駅がリニューアルオープンしました。佐賀県が事業主体となり地方創成拠点整備交付金を活用し、駅舎改修が行われました。駅舎は、昭和5年開業時の木造駅舎の魅力を活かしながら、交流スペースも設けてあり、地域の交流拠点として地域活性化の役割が期待されます。24日と25日は、オープニング記念イベントとして、長崎本線の沿線自治体である、太良町、白石町、江北町と一緒に浜駅で合同物産展が開催され、販売された物産は、全て完売となるほど大盛況でした。



リニューアルした肥前浜駅

3. 過去最高の人出！鹿島酒蔵ツーリズム盛り上がる！

3月24日(土)～25日(日)の2日間、第7回鹿島酒蔵ツーリズムが開催されました。市内6酒蔵での蔵開きをはじめ、肥前浜宿では「花と酒(咲け)まつり」、祐徳門前商店街では「祐徳門前春まつり」、中心市街地では「かしま発酵まつり」や「鹿島おまつり市」、旭ヶ岡公園では「桜まつり」が同時開催され、各イベント会場を結ぶシャトルバスは終日混みました。また、嬉野市の3酒蔵も、この日に合わせて蔵開きが開催されました。期間中は、県内外から過去最高となる88,000人が来場し、地域の文化に触れながら地酒を堪能されていました。



肥前浜宿酒蔵通りの様子

4. 東京で鹿島市の特産品を紹介・販売！

早稲田大学の近隣に位置する早稲田商店街の一角、「こだわり商店」に、鹿島市の特産品を紹介・販売するコーナーが登場しました。「こだわり商店」は、産地直送を主体として、店長自らがセレクトした全国のこだわりの商品を取り揃えたお店で、海苔やワラスポの干物、羊羹、丸ぼうろなどの市の特産品が販売されています。来店されたお客様の中には、ふるさとを懐かしく思い購入された人もいらっしゃったようです。

ちなみに、早稲田大学の創立者の大隈重信は、鹿島市七浦出身の「江副美登(みと)」を最初の妻にむかえています。

【こだわり商店:東京都新宿区西早稲田 TEL 03-3203-5801】

【営業時間:月～金 10:00～21:00 土 10:00～18:00 日祝は休日】



こだわり商店の鹿島市特産品コーナー

5. 京都市のバーで「さがんルビー(鹿島産)」のカクテル登場！

京都市内のバー「The door,, 高倉店」で鹿島産グレープフルーツ「さがんルビー」のカクテルが登場しました。「さがんルビー」は低農薬栽培なので、皮もカクテルの飾りに使用されています。さがんルビーの果汁はほんのりピンク色で、程よい酸味と苦味があり、カクテルに最適のことです。また、そのバーには、国内のカクテルコンペティションで数々の賞を受賞された鹿島市出身のバーテンダー、中村晃子さんがいらっしゃいます。中村さんは「ふるさとのものを使えて嬉しいです!」とおっしゃっていました。「さがんルビー」を使ったカクテルは5月ごろまでお楽しみいただけます。

【The door,,(ザ・ドア) 高倉店:京都市下京区 TEL 075-353-8678】



さがんルビーを使用したカクテル2種



鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。